

平成25年1月18日

各位

日本学校心理士会愛媛支部長 橋本 巖

日本学校心理士会愛媛支部第2回研修会のお知らせ

厳寒の候、皆様には益々御清祥のこととお喜び申し上げます。さて、平成24年度における第2回目の研修会を開催いたします。

今回の研修会は、愛媛大学教育学部准教授 富田英司 先生に講師をお願いしました。富田先生は、教育心理学の専門的な知識や各段階の学校など関係機関等とのネットワークを用いて、多くの助言や提言をされています。本研修は、日ごろ学校心理士として活躍されている皆様に新たな視点を与え、抱えている課題解決の一助になるかと思われます。また、会員以外の皆様も参加できますので、万障繰り合わせの上、是非受講いただきますよう御案内申し上げます。

記

- (1) 日時 平成25年3月17日(日) 14:00~16:00
- (2) 会場 愛媛大学教育学部1号館2階会議室
- (3) 講師 富田 英司 先生 (愛媛大学教育学部 准教授)
- (4) 研修テーマ

「学習者中心の学習環境をつくる上での学校心理士としての役割」

<主な内容> どのような学問も発展を通して細分化が進む。しかし、教育という人間の生活の中でも最も重要な部分を占める活動においては、その細分化の引力に常に抗わない限り、専門性は害になりうることもある。今回の研修会では、子どもの主体的な学びを促進する環境を作るために、普段切り離されて考えられている内容を関連付けた学習環境設計方針を提案する。

- ① 言語活動を充実させる上で、知的機能を駆動させる情動の働きを支援すること
 - ② 学習に対する内発的動機づけを促進する上で、ロジャースの人間中心アプローチが欠かせないこと
 - ③ インフォームド・アセスメントやパフォーマンス評価といった現代的な評価手法を用いた学習環境の設計が学習者の主体的な学びを促進する上で欠かせないこと
 - ④ 最終的にはこれらが技法としてバラバラに導入されるのではなく、学習者中心の教育の諸原理を尊重する教育者の態度形成が鍵となること
 - ⑤ この態度形成は授業研究を通して初めて成し遂げられること
- (5) 会費 愛媛支部会員無料 県外会員・非会員500円
 - (6) 研修会に関する問い合わせ先

愛媛学校心理士会 (日本学校心理士会愛媛支部)

会長 橋本 巖

住所① 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学教育学部

電話② 089-927-9532・FAX 089-927-9396

Email: iwaoh313@ed.ehime-u.ac.jp

または、

事務局 山本千鶴子

住所③ 愛媛県松山市祓川1丁目3番39号 松山市立宮前小学校

電話④ 089-951-0253・FAX 089-951-4974